



AIに取り組む団体間の結束を強める 交流イベントを開催

JEITAではAIに関する取り組み強化のため、AIプロジェクトを今年4月に立ち上げました。

このプロジェクトの一環として、10月17日CEATEC 2024において、AIセーフティ・インスティテュートをはじめ、国内のAIに取り組む主要13団体が集まり、活動内容の相互理解を目的としたネットワーキングイベントを開催しました。

AIの適切な社会実装を各方面から支援

官・民の牽引役を担う方々による基調講演を皮切りに、各団体から熱意のこもった活動紹介が行われました。

AIセーフティ・インスティテュート (AISI)

所長 村上 明子 氏

- ・ AIの安全性確保を推進するため、今年2月に設立。
- ・ これまでに、AI事業者ガイドライン、AIに関する安全性評価やレッドチーミング手法に関するガイドを公開。また、国際連携の一環で米国とのクロスワークも実施。
- ・ AISIがハブ役となり、AIセーフティに関する日本のワーカーチームを作っていきたい。



パナソニックコネクト(株)

執行役員 CIO / IT・デジタル推進本部

マネージングダイレクター 河野 昭彦 氏

- ・ 23年2月より、生産性向上・AIスキル向上・リスク軽減を目的に、全社員13,400人が生成AIを利用可能な環境に整備した。
- ・ 1年間の成果として、業務削減は18.6万時間でAI関連事故はゼロであった。
- ・ AI・データ活用が必要な理由は、顧客・社会、そして自社／現場の変革をドライブするためであり、最終判断と行動は人にしかできないと考える。



参加団体 (13団体 / 25名)

※ 順不同・法人格省略

- ・ AIセーフティ・インスティテュート (AISI)
- ・ GPAI東京専門家支援センター (Tokyo ESC)
- ・ AIアライメントネットワーク (ALIGN)
- ・ AIガバナンス協会 (AIGA)
- ・ AI法研究会 (AI and Law Society)
- ・ Generative AI Japan (GenAI)
- ・ 人工知能学会 (JSAI)
- ・ 生成AI活用普及協会 (GUGA)
- ・ 日本画像生成AIコンソーシアム (JIGAC)
- ・ 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)
- ・ 日本ディープラーニング協会 (JDLA)
- ・ 組込みシステム技術協会 (JASA)
- ・ 電子情報技術産業協会 (JEITA / 主催者)

参加企業 (4社 / 7名)

※ 順不同・法人格省略

- ・ パナソニックコネクト
- ・ シャープ
- ・ 日本電気
- ・ 三菱電機

多様なステークホルダーの結束が重要

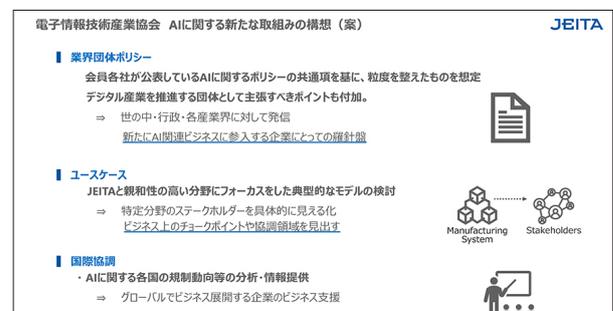
今後の連携も見据え、団体間の親睦を深めるため、立食パーティを行いました。

最後にAISI副所長 平本 健二 氏より、安全・安心で信頼できるAIの実現には、情報連携をはじめ、官民が力を合わせて推進していくことが重要である旨、メッセージが発せられました。



JEITA AIプロジェクト 今後の構想

本プロジェクトでは、ビジネスシーンにおけるAIの社会浸透が適切に進むための議論を展開できるように、新たな組織体の設置 (25年度上期予定) も視野に、会員の皆様に裨益する活動の具体化を検討してまいります。



AIプロジェクトの構想案 (24年10月時点)

本件の
お問い合わせ

JEITA AIプロジェクト事務局
E-mail : ai_project@jeita.or.jp